

# 水戸黄門になろう

薬学部・製薬化学科・教授 **高石喜久**

徳島大学薬学部へ入学おめでとう御座います。私たち薬学部のスタッフは君達を歓迎すると共に一緒に学べることを喜んでおります。徳島大学薬学部には薬学科・製薬化学科の2学科がありますが、どの学科に入学しても皆さんは薬学者や薬剤師として薬をキーワードに国民の健康を守る使命のもと、社会に役立つ活躍をするための基礎を学びます。

## 私達の将来は

薬学部の卒業生は①人々の健康に貢献する薬を作り出す創薬・製薬の分野、②薬の責任者として調剤、医薬品情報の収集・提供、患者さんへの服薬指導等の業務を通し国民の健康を守る為病院・診療所・薬局の薬剤師としての分野、③公務員として厚生行政、食品衛生、保健所、衛生試験所等で能力を発揮し国民の福祉に貢献する医療・薬事行政に従事する分野、④薬学の研究に関わったり、薬学の教育を行う為大学や研究機関の教員、研究員としての分野で働いております。また⑤地域社会の薬剤師として地域住民の健康の維持、増進に貢献したり、⑥製薬企業だけでなく、近年では化学産業、食品産業、化粧品産業、時にはジャーナリストとして活躍している人も増加しております。この様に、薬学は薬という化学物質を通じて大きく社会に貢献しています。君達はこの薬をキーワード（水戸黄門の印籠？）にして学部4年間または博士前期（修士、2年）、博士後期（博士、3年）を通じ私たちと一緒に学びます。

## 何を学ぶの……共通教育

それでは君達は薬学部でどのようなことを学ぶのでしょうか？学部の教育は一般教養教育（全学共通教育）と専門教育から構成されています。全学共通教育では学部の枠を越え他学部の学生と人間としての幅広い深い教養と多面的、総合的、自立的な判断能力を養い、社会の諸問題解決のための視点の確立を目指しています。

この共通教育を学ぶ事により、君達は将来自分が楽しく情熱を傾けられる仕事が見つけられることになるでしょう。薬学部ではこの共通教育の中に少人数教育（10人程度）として、自然科学ゼミナールを開講しています。これは特定のテーマに関し君たちが自ら学ぶことを主目的にしております。チャレンジしてみてください。

## 何を学ぶの……専門教育

薬学部の専門科目は授業科目、実習、特別実習が行われます。授業科目は大きく有機化学系、天然の薬、薬の元を採す、薬を作る）、物理化学系（薬の性質を調べる）、生物化学系（薬と生物の関わりを調べる）、医療薬学系（薬を正しく使う）の4つに大別されます。実習（とつてもハードですが）は授業科目に対応し、知識として学んだことを自ら手を動かす（化学反応、薬草鑑定、動物実験、

定量試験、生化学反応等）技能を体得します。また実習の中で病院・薬局実習は実際の医療の現場へ赴き、医療現場での薬剤師の業務を見学し体得します。3年次後期から4年次にかけての特別実習（卒論教育）は各研究室に所属（薬学部には19研究室が有ります。各研究室4〜5名配属）し、教官から研究テーマを貰い、自分の力で課題を探索し問題を解決してゆく能力を身に付ける、密度の濃い教育を進めます。そして4年生の3月には薬剤師の国家試験があります。薬学部の教育課程は結構ハードな面が有ります。君たちの先輩たちはこのハードさに負けず頑張っております。君たちも大学生としての自覚を持ち、自ら学ぶ意思を強く持ちチャレンジして下さい。

## 水戸黄門への道

君たちはこれまでの受験勉強で知識の満杯状態になっていると思います。そして大学へ入り私は何を学ぶのだろうとの不安と期待で一杯だと思います。単位を取り、国家試験に受かれば良いと言っているのは大学を卒業するための手段です。若い君たちには無限の可能性が有ります。どうか心がけを大きく持ち、将来の大きな夢をキャンパスに描き勉学に励んで下さい。夢は実現されます。私たち教職員はその様な学生を期待すると共に応援します。そして、社会に印籠（薬）を示せる水戸黄門になりましょう。